

## 旅行先での被災に備える

長期休暇のある8月は、家族で旅行に出かける方も多いと思います。あまり考えたくないですが、旅行先で災害にあった場合のことを想定しておくことはとても大事なことです。旅行先での災害リスクを知り、出発前にできる限りの対策をしておきましょう。

〈防災士 荻野 勝也〉

### 旅行先での災害リスクの種類

#### ◆海に近い場所 … 「高波」「高潮」「津波」

「高波」と「高潮」は、台風や発達した低気圧による気象災害です。

一方、「津波」は、地震や火山の噴火などによって発生する災害です。

#### ◆山に近い場所 … 「土砂災害」「なだれ」「噴火」

「土砂災害」と「なだれ」は、大雨や急激な気温上昇などが原因で発生する気象災害です。

「噴火」は、噴火警戒レベルが「1」以上の活火山であれば、いつでも起こり得る災害です。

#### ◆川や都市部に近い場所 … 「浸水」「洪水」

「浸水」と「洪水」は、大雨による河川の氾濫などが原因で発生する気象災害です。

#### ◆場所に関係なくどこでも発生する … 「地震」

「地震」は、発生すると揺れによる建物の倒壊だけでなく、「土砂災害」「なだれ」「津波」など、他の災害も引き起こす自然災害です。

### 出発前にできる災害対策

#### ◆「高波」「高潮」「土砂災害」「なだれ」「浸水」「洪水」

気象災害は、天気予報や気象情報などで数日前から災害発生の可能性が把握できるものです。旅行を見合わせることや、ハザードマップから避難場所の確認を行うなどの事前対策ができます。

#### ◆「津波」

津波被害が想定される地域では、津波避難タワーや津波避難ビルの場所などを調べ、宿泊先などからの避難経路を確認しておきましょう。

#### ◆「噴火」

警戒レベルが低くても、急激に火山活動が活発になる場合もあります。行き先の自治体が発行している火山ハザードマップを確認して、被害が予想されている範囲や避難経路などを確認しましょう。

#### ◆「地震」

避難場所、避難経路などは出発前に確認しておきましょう。

また、ホテルなどの宿泊先に到着したら、建物内の避難経路案内図の確認も行っておくと安心です。